

平成22年度 輸送安全マネジメント・G経営認証 実施評価

株式会社 ミナミ

作成者：川南 忠士

平成23年3月31日

重点項目	具体的実施事項	評価	担当当事者	実施時期	実施内容	評価・チェックの方法
安全管理・G推進	乗務前点呼時アルコール薬物検査の実施 小林係長・菊地係長の2名を代務者として 選任し点呼強化する。	○(任意)	澤田	日々継続実施	運行管理者(代務者)は日々乗務前点呼を実施し 乗務員の健康状態を把握すると共に、ALチェッカー による数値チェックを行いリスク回避に備える。	毎月1回点呼記録簿を確認
	" 本日のワンポイントドライブ運動	×	竹橋	日々継続実施	乗務前点呼の指示事項に月間重点テーマを設け、 具体的なアドバイスをを行いドライバーの注意喚起	乗務後点呼時に状況確認 事例ある場合はヒヤリハットへ
	EMS活用によるエコドライブの推進	○	澤田 掲示	日々継続実施	EMSデータより法定スピード遵守状況・急制動の 有無をチェックし、ドライバー教育に活用する。	実績報告書(月別)の作成
	全国・全道交通安全運動	○	川南社長	春・秋	全国交通安全運動期間中、従業員に対し交通安全 思想の普及・浸透を図り、交通事故防止を徹底する。	期間中の違反・事故集計の実施
	セーフティラリーへの参加	○	澤田	7月1日～11月30日	北海道警察が主催する無事故・無違反ラリーに チームにて参加。安全に対する意識を高める。	期間中の遂行状況のチェック
	健康診断100%受診	○	川南部長	年1回・1月	トラック協会主催の定期健康診断の受診 夜間ドライバー年2回 7月受診・SAS検査	要検査以上の従業員に個別受診
健康管理	過労運転防止健康チェック	○	澤田	毎月	毎月従業員の残業時間をチェックし、残業の多い 従業員には是正を求め、健康指導を実施する。	
	SAS調査	△ 申告者ゼロ	澤田	随時	居眠り運転履歴者及び自己申告者に対し実施	受診結果をみて検討
	全社安全教育研修会の実施	○	澤田	年2回以上	外部講師を招聘しての交通安全研修 伊達警察署・北済協・三井住友海上	参加者は社長へレポート提出
安全教育・G推進	トラック安全運転研修センターへの派遣	△ 4名を派遣	澤田	随時	実技体験研修へ参加させる。 5.6.7.9.10月各2名ずつ参加。	参加者は社長へレポート提出
	トラック協会安全運転講習への派遣	○	澤田	随時	初任者研修、適正検査へのドライバー派遣	参加者は社長へレポート提出 結果に基づき運営よりアドバイス
	リーダースキルアップ研修会	○	川南社長	随時	各団体・各業界主催の講演会・研修会の他、 中小企業大学旭川校への単科派遣を実施	参加者は社長へレポート提出
	安全運転教育・エコドライブ講習の実施	△	竹橋	月1回	国土交通省推薦の資料を参考に講習を行う。	
	小グループミーティングの実施	○		随時	グループリーダーが必要に応じて開催。 ヒヤリハット情報の聴き取り等。	
定例会議・情報交換	車両安全委員会の実施	○	竹橋	毎月1回・10日	事故・違反状況、車両整備状況についての確認	
	事業部会議の実施	○	川南社長	月2回	担当部門についての課題進捗状況の確認	
	社内回覧・掲示物による情報交換	○	澤田	随時	道警本部発信の交通安全情報の随時回覧 ヒヤリハット情報とその対策・改善について周知徹底	
	無事故・無違反表彰	○	竹橋	年1回・4月	車両安全委員会表彰and積み立て配当	
表彰	無事故表彰	○	川南社長	年1回・4月	会社表彰	
	低公害車導入についての検討	○	随時			
研究	輸送安全マネジメントの内部監査・評価	○	川南社長	年1回・6月		
監査						